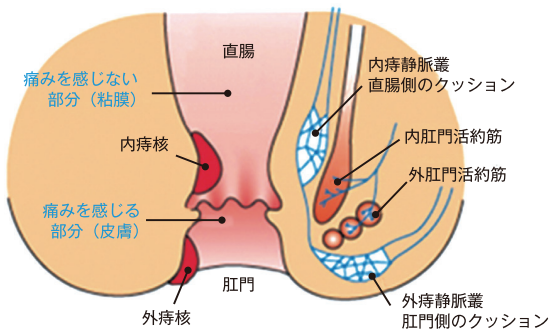


痔核（いぼ痔）と白杵病院で行っている治療について

1. 痔核（いぼ痔）とはどんな病気？

肛門の周りには、血管が集まって肛門を閉じる役目をするクッションのような部分があります。肛門への負担が重なり、クッションをささえる部分が引き伸ばされ、出血したり肛門の外に出たりするようになります。これが痔核（いぼ痔）です。



2. 注射による治療法とは？

「脱出を伴う内痔核」に注射（ジオン注）をして、痔に流れ込む血の量を減らし、痔を硬くして粘膜に癒着・固定させる治療方法です。

痔核を切り取る手術と違って、痔核の痛みを感じない部分に注射するので「傷口から出血する」や「傷口が痛む」ということはなく、短期間の入院（場合によっては外来治療）で行うことができます。

3. 注射はどのようにするのでしょつか？

まず、麻酔を行い肛門の周りの筋肉を緩めて注射をしやすいです。

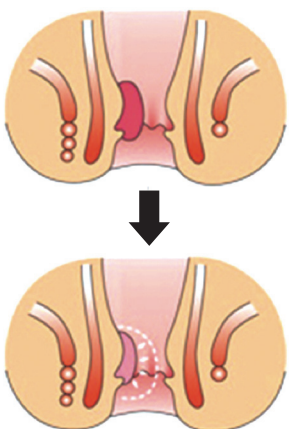
ジオン注はひとつの痔核に対して4か所に注入します。これは、薬を痔核に十分に浸透させるための方法で、四段階注射法といえます。

痔核が複数あるときは、それぞれに注入します。注入後は、麻酔の影響がなくなるまで安静にします。

4. 注射による治療効果は？

注入して早い時期に痔核へ流れ込む血の量を抑え、翌日には出血がおさまり、脱出の程度も軽くなります。

腫れていた痔核は次第に小さくなり、引き伸ばされていた部分が元の位置に癒着・固定され、脱出が改善されます。（1週間〜数か月）ただし、再発の可能性も5〜15%あります。



おしりでお悩みの方

外科 原田医師 が担当します。